

simc News Letter

Sendai International Music Competition

2022年5月29日号

仙台国際音楽コンクールニュースレター

第8回仙台国際音楽コンクール 【開催日程】ヴァイオリン部門 2022.5.21(土)～6.5(日) ピアノ部門 2022.6.11(土)～2022.6.26(日)

第8回仙台国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門全体レポート

セミファイナル 第1日目 2022年5月27日(金)

須永 誠(フリーライター)



2022年5月27日。第8回仙台国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門のセミファイナルが、3日間の日程で始まった。この日の仙台市は早朝から時折強い雨が吹き付けたが午後には上がり、晴れ間ものぞくまですぐの日和。初日の審査開始は午後6時。会場の日立システムズホール仙台には、午後5時半の開場前から熱心なファンが詰めかけた。

セミファイナルになると聴衆の熱気は一段と高まる。コロナ禍でチケット発売が4月下旬にずれ込んだ影響か、入場者は全客席の3分の1程度とやや寂しかったものの、出場者を応援しようという気持ちが会場に満ちているのを感じる。市民の支えで成り立ってきたコンクールの特長は、コロナ禍を経ても色あせることはない。

予選を通過し、セミファイナルに進んだのは12人。国籍は日本が6人、韓国、米国が各2人(米国の1人は日本との二重国籍)、ロシア、中国が各1人となった。出場者を支えるのは広上淳一指揮の仙台フィルハーモニー管弦楽団だ。課題曲はメンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲 ホ短調」、ドヴォルザーク「ヴァイオリン協奏曲」のどちらか1曲と、コンサートマスターとして演奏するリヒャルト・シュトラウスの交響詩「英雄の生涯」の指定箇所。

初日は3カ国の4人が登場、メンデルスゾーンとドヴォルザークをそれぞれ2人が選んだ。1人目はドヴォルザーク。管弦楽のトゥッティで奏される力強い序奏は、セミファイナルの開幕を告げるにふさわしい緊張感に満ちていた。出場者を支え、共に音楽を創り上げようとの仙台フィルの意気込みが感じ取れて心強い。弦楽器の編成は10型(第1ヴァイオリン10、第2ヴァイオリン8、ヴィオラとチェロが各6、コントラバス4)。

メンデルスゾーンもドヴォルザークも一筋縄では行かない作品だ。優れた技巧を持っていても、それだけで聴き手を納得させることはできない。演奏者の音楽性が白日の下にさらされる。しかもメンデルスゾーンは聴衆が隅から隅まで知り尽くした人気曲だ。ドヴォルザークは豊かな旋律、叙情性に満ちた民族性の塊のような作品で、スラヴの色彩をどう扱うかといった問題もある。2曲をバランス良く聴けたこの日は、出場者の持ち味や作品への思い、アプローチの仕方の違いをじっくり楽しめる充実した時間となった。

「英雄の生涯」は第3部「英雄の伴侶」の少し前から演奏時間にして8分ほど(180小節上拍から288小節1拍目)が指定された。コンサートマスターの長大ソロが聴きどころで、超絶技巧を求められる箇所もある。ソロ中心のため、演奏者によって音楽の印象は大きく異なる。聴衆にとって得難い体験になった。

(第2日へ続く)

*評論家山田治生さんによる出場者個々人の演奏レポートとあわせてお楽しみください。

♪コンクールの演奏をYou Tubeでお楽しみいただけます。

第8回仙台国際音楽コンクールでは、両部門の予選から表彰式、ガラコンサートまでのライブ配信を4K60pで行っています。また演奏日の翌日から9月30日(金)まで期間限定でオンデマンド配信も行いますので、ぜひご視聴ください。

第8回仙台国際音楽コンクール公式サイト

https://simc.jp/8th_competition/

Facebook :@SendaiInternationalMusicCompetition

twitter :@sendai_simc



お問い合わせ先/公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873 E-mail: info@simc.jp URL: <https://simc.jp>